



ホヤぼーやをより深く知ってもらうための効果的な方法は何か

気仙沼高校3406A 班

I 序論

【問題の所在】ホヤぼーやは特産品など、気仙沼のPRポイントが数多く盛り込まれている。

→ 気仙沼のPRに最適



気仙沼の人はホヤぼーやの存在や名前程度は知っているが、深くは知らない。(プロフィールなど)



ホヤぼーやに興味を持つことで

- ①気仙沼の魅力に気づくことができる
- ②他地域にPRできるようになる



どうしたら興味を持ってもらえるか

【仮説】ポスターで視覚的に訴えることが最も有効ではないか。

II 方法

気仙沼の人々はホヤぼーやを深く知らないと考え、現在の認知度を調べるため気高生1学年全体(1回目204人,2回目198人)にホヤぼーやに関するクイズを実施した。

- ①何も情報を与えないままクイズ(10問)に答えてもらう。



- ②ポスター掲示以外の方法(ファンの人の話)と比較し、認知度を調べる。

- 1, 2組→ポスター掲示
- 3, 4組→ファンの人の話を聞く
- 5, 6組→情報を与えない



- ③認知度の変化を調べるため、同じクイズに答えてもらう。



- ③クラスごとに認知度の平均を求める。2回目のクイズで1回目より正答率が上がったなら興味・知識が深まったと判断する。

参考文献

[気仙沼市観光キャラクター「海の子ホヤぼーや」の使用取扱について - 気仙沼市役所 \(kesenuma.miyagi.jp\)](https://www.kesenuma.miyagi.jp/)

IV まとめ

結果①より

3つある条件のうちファンの人の話を聞くという条件が一番効果があったと考えられる。

結果②より

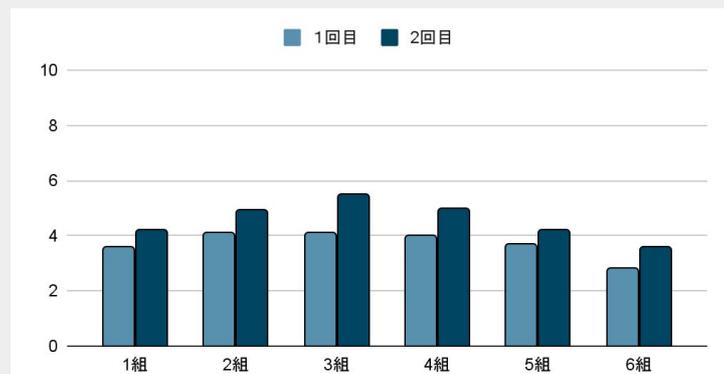
5, 6組には何も情報を与えなかったが、正答率が上昇していた。このことからクイズをしたことに意義があったと考えられる。

結果①, ③より

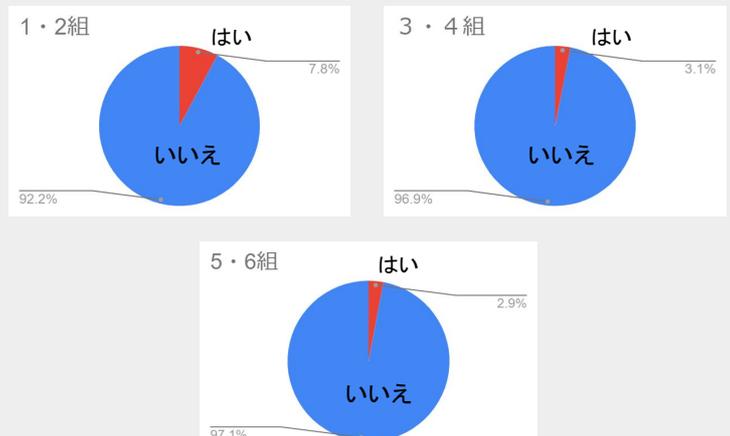
知識がつけられるのはファンの話を聞くことであり、興味を持ってもらうにはポスターが効果的だと考えられる。

III 結果

- 3, 4組→1, 2組→5, 6組の順で正答率が上昇した。…結果①
- 5, 6組には1回目と2回目の間に何もしなかったが正答率の上昇が見られた。…結果②
- 「1回目のクイズの後に公式サイト等で答えを確認したか」という問いに対して、「はい」と答えた人は1, 2組→3, 4組→5, 6組の順で多かった。しかしどのクラスも10パーセントを下回るという結果になった。…結果③



図①【ホヤぼーやクイズの各クラスの平均点数】



図②【公式サイト等で答えを確認したか】